



▲元気に育て あいらっこ（建昌幼稚園入園式）

かごしま
あいら
市議会だより

No.8 3月定例会
平成24年4月30日発行

クイズ

ここはどこ？

24

一般質問

24人 市政を問う

12

市民農園

今秋オープン

9

予算

市税増

1億4300万円

4

262億円

合併から3年めを迎えて 第1次総合計画が 始動



▲環境にやさしく、豊かな自然と共生、調和する始良市に
(国立公園に指定された記念式典が行われました)

3月定例会は、2月24日から3月27日までの33日間の会期で開かれました。笹山市長の施政方針に始まり、24年度一般会計と特別会計予算及び23年度補正予算を審議。請願・陳情の審査では、請願2件と陳情1件を採択し、陳情1件を不採択としました。条例制定では原案の一部を修正した議案や継続審査となっていた国保税の値上げなど、残りすべての議案を原案どおり可決。議員発議2件や副市長等の人事も含め、3年めの市政が始動します。

条例

霧島錦江湾国立公園の指定に呼応した形での環境基本条例や、中山間地域の活性化と持続可能な地域づくりを推進する移住定住促進条例のほか、建昌城跡地に市民農園を設置するための条例など、10の条例を制定しました。
(詳細は8・9ページに掲載)

議会基本条例

「議会基本条例制定調査特別委員会」は、約1年半にわたる活動を経て、始良市議会基本条例を制定しました。
(詳細は10ページに掲載)

人事

議会は、二代目の副市長に大橋近義氏の選任と教育委員2名の任命に対して同意しました。
(詳細は7ページに掲載)

重要議案 めぐり 議論 激突

国保

継続審査となっていた国民健康保険税の値上げについての条例改正案は賛否をめぐり、議論が激突しました。

一般会計からの繰入れで被保険者の負担を軽減しようとする原案が21対7で可決しました。
(詳細は8ページに掲載)

がれき受入れ

東日本大震災の発生から一年が経ちました。国は、岩手・宮城両県のがれきの受入れを全国に呼びかけています。

議会は、被災地の日も早い復興を願い白熱した議論を展開しました。

その結果、22対6で始良市と国に対して条件を示し、がれきの受入れを議員発議で決議しました。
(詳細は10ページに掲載)

施政方針



笹山市長

社会経済環境の変化と市民生活に即応するために市長としてまず自ら動き「今まさにその時」と思う時には機を逸することなく積極的に踏み出し、始良市らしいまちづくりを進めて参ります。

総合計画に掲げた8つの将来像

- ①市民・地域と行政が協力しあい、一体感あふれるまち
 - 市のコミュニティビジョンと男女共同参画基本計画の策定
- ②子どもを安心して生み育てることができる、子育て支援のまち
 - 小児救急医療体制の整備
 - 相談業務の充実 ○不妊治療の充実
 - 保育所待機児童の早期解消
- ③豊かな人間性を育むまち
 - 学校・家庭・地域が一体となった人づくり教育の実践
 - (仮称)松原小と建昌小、建昌と帖佐幼稚園へ配食する給食調理室の整備事業
 - 人材データベースの作成
 - 子どもの体力向上
 - 地域スポーツ活動の推進
- ④生涯すこやかで、ともに支えあい、いきいきと暮らせるまち
 - 緊急通報システムの普及
 - 高齢者用肺炎球菌ワクチン接種の公費助成
- ⑤快適で暮らしやすいまち
 - 加治木地区の同報系無線整備
 - 蒲生分遣所の高規格救急自動車の配備
 - 市営住宅の整備
 - 都市公園トイレの水洗化
- ⑥地域資源を活かした活力ある産業の育つまち
 - 湿田対策事業
 - 市民農園の開墾
 - 企業誘致
 - 観光基本計画の策定による観光施策の推進
 - 6次産業推進事業
- ⑦環境にやさしく、豊かな自然と共生・調和するまち
 - 単独浄化槽から合併浄化槽への積極的切り換え
 - 環境基本計画や地球温暖化防止計画の策定
- ⑧経営感覚を持った行財政運営のまち
 - 行政改革大綱に基づいた実施計画の実施
 - 市民参画や協働による開かれた行財政運営

平成24年度

一般会計

微減

総額 **262億1700万円**

市の仕事の大部分を担う一般会計予算額は、262億1700万円で、前年度と比較して2・2%の微減です。その要因は、土木費や労働費の減です。(詳細は4・5ページに掲載)

「県央の良さを活かした県内一くらしやすいまちづくり」を基軸に予算編成

今年度の予算は、厳しい財政状況の中、始良市総合計画に基づいて、第2次実施計画に沿った内容となりました。

- 環境基本計画やコミュニティビジョンの策定
- 中山間地域の活性化に向けた移住者への助成
- 70歳以上を対象とした肺炎球菌ワクチン接種の

「県央の良さを活かした県内一くらしやすいまちづくり」を基軸とする予算編成になりました。(詳細は6・7ページに掲載)

- 公費助成
- (仮称)松原小学校建設に向けた設計
- 地域防災無線、市民農園、さえずりの森、6次産業推進と都市公園トイレの水洗化などの整備
- 子どもの学力向上や学校と地域が融合した人づくりに向けた取り組み

一般質問

市長の施政方針や予算説明を受け、過去最高の24人が市長の考えをたてました。(詳細は12〜23ページに掲載)

新企画クイズ「JUPITER」

始良市をもっと知ってもらいたいとの思いから、新企画が誕生しました。(最終ページ)

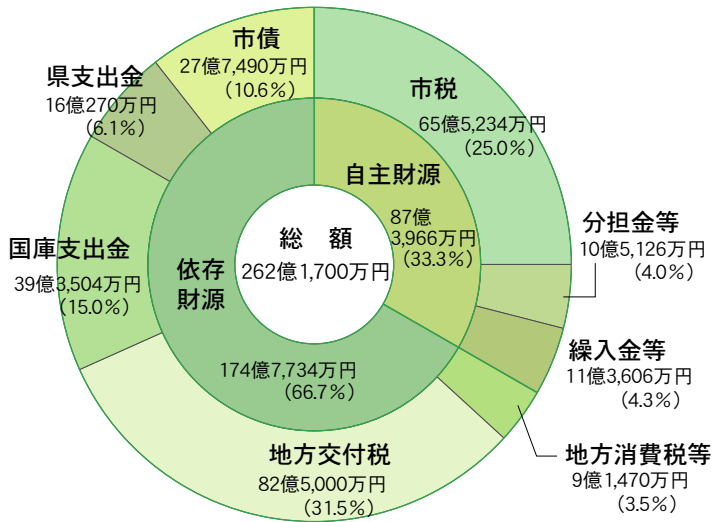


▲おまたせしました 錦原跨線橋が開通

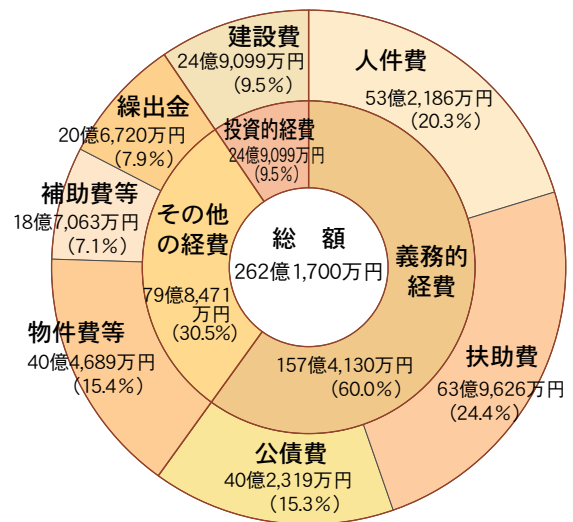
一般会計

歳入 市税1億4,349万円増
歳出 建設費9億4,488万円減

歳入



歳出



※端数処理のため、構成比の合計が100.0%にならない場合があります。

自主財源は 87億3,966万円
自主財源は、市税など自治体自らの収入です。この割合が高いほど財政が安定していることを示します。

依存財源は 174億7,734万円
依存財源は、国から交付される地方交付税、国・県支出金、市債などです。24年度は、歳入総額の67%を占めており、23年度予算額に対して、7億6,878万円の減額です。要因の主なものは、国・県支出金2億9,423万円と市債3億3,055万円です。

義務的経費は 157億4,130万円
義務的経費は、職員等の人件費・生活保護等扶助費・公債費(借金返済)に分けられます。23年度予算額に対して、1億2,993万円の増額です。

その他の経費は 79億8,471万円
その他の経費は、物件費・補助費等・特別会計への繰出金等が主なものです。23年度予算額に対して2億2,995万円の増額です。

投資的経費は 24億9,099万円
投資的経費は、普通建設事業と災害復旧事業費です。普通建設事業費は24億8,749万円で、23年度予算額に対して9億5,381万円の減額です。減額の要因は、街路宮島線が完成したこと、農村振興総合整備事業に対する国・県の予算措置がないためです。



▲ 完成した街路宮島線

特別会計を含む24年度予算 総額415億2378万円

一般会計と10の特別会計の予算総額は、415億2378万円です。

予算総額のうち、一般会計予算の占める割合は63%です。

特別会計で、国保事業83億6800万円は、予算総額の20%、介護保険事業53億3284万円は13%を占めています。

但し、国保事業は、23年の12月定例会で国民健康保険条例の改正案が上程されましたが、市民福祉常任委員会は継続審査としました。

24年3月定例会で再度審議した結果、12月定例会提案の内容で可決しました。

従って、国保事業の本格予算額は、9月補正で決定されることになりました。

今回の国民健康保険条例の改正は、高齢化の進展に伴い医療費が増大し、基金が枯渇して運営が困難になったためです。自治体ごとに保険税の納付額に格差があることが課題であり、国の助成増額が必要です。



▲ 私たちも防災活動に参加します

平成24年度会計区分別予算内訳表

単位：%

予算科目	予算額	構成比	概要説明
1 一般会計	262億1,700万円	63.14	市の一般部門を担う会計
2 特別会計	153億 678万円	36.86	各事業の目的を担う会計
①国保事業	83億6,800万円	20.15	74歳までの市民を対象にした医療保険
②国保施設事業	8,700万円	0.21	北山診療所の運営経費
③後期高齢者医療	8億5,900万円	2.07	75歳以上の市民を対象にした医療保険
④介護保険事業	53億3,284万円	12.84	介護認定者に対する給付事業
⑤介護保険サービス	6,377万円	0.15	介護認定等の事業（予防計画策定等）
⑥簡易水道施設	1億4,135万円	0.34	簡易水道施設等の償還と維持管理
⑦農業集落排水	5,668万円	0.14	農村下水道事業（山田地区）の償還と維持管理
⑧地域下水処理	2億1,847万円	0.53	下水路を伴う合併浄化槽の維持管理
⑨農林労働者共済	203万円	0.00	農作業中の事故等の救済事業
⑩土地区画整理	1億7,764万円	0.43	帖佐第一土地区画整理事業
合計	415億2,378万円	100.00	

討論（一般会計）

賛成 26人

森 弘道

合併して3年目を迎え、総合計画が策定された。24年度から26年度までの実施計画には、36の新規事業が予定され、始良市の躍動を感じる。新規事業の主なもの、中山間地域移住促進事業、高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成事業、市民農園整備事業など。教育関係では、市の総合計画を受けて、教育振興総合計画を策定した。「古から未来への懸け橋」を教育理念に掲げ、学校・地域融合型人づくりのほか4つの新規事業を新たに設けて、社会に役立つ人づくりを目指している。ハード面では、(仮称)松原小学校建設に係る設計等の経費が計上され、未来を担う子どもたちの教育環境が整備される。始良市の新たな取り組みに期待する。

反対 2人

里山和子

子ども手当が約3億円の減額。年少扶養控除の廃止による住民税増税が、約1億8300万円。1人親家庭でも10月から児童扶養手当が0.6%削減される。行革で、職員は5人減になり、消防職員は1人増になっているが、消防職員絶対数の不足のため、火災時に2人体制で出動するなど課題がある。救急車の出動回数も増えており、増員が必要である。建昌小・松原小、建昌・帖佐2幼稚園の4施設に配食する給食センターの設計業務等の委託料が予算化され、建設場所が旧三叉小学校跡地と聞いて驚いている。始良地区の小中学校の自校方式が、給食センター方式に変更される可能性が出てきた。自校方式を守るためにも反対する。



▲このバンガローをオートキャンプ場へ移転します

さえずりの森 3100万円

さえずりの森の宿泊施設をもっと多くの方々に利用してもらうために、既存のミニバンガロー11棟を林間広場付近に移転します。
 オートキャンプ型に改良し、テラスと駐車スペースを設置した雨天時にも利用可能な利便性の高い宿泊施設に整備します。



▲今後、地区全域に設置される屋外拡声機

地域防災無線

2億8700万円

質疑 新設の内容を説明せよ。
答弁 加治木地区にこれまでなかった地域防災無線設備を、全域に中継局及び屋外拡声機を設置し、緊急事態に備える。
 なお、行政連絡員宅、土砂災害危険箇所にある世帯や公共施設等には、戸別受信機を設置する。

地域 特集 密着型

暮らしやすいまちづくり予算

県内で一番暮らしやすいまち「始良市」をめざし、平成24年度に予定されている身近な事業からピックアップしてみました。



▲基本設計がはじまる松原小予定地

(仮称)松原小学校基本設計

9970万円

質疑 (仮称)松原小学校の基本設計の概要を示せ。
答弁 生徒数525名を見込み、普通教室18学級、特別支援教室2学級、その他に音楽室などの特別教室と多目的ホールを含んでいる。
 本校舎延床面積約5500㎡、室内運動場約1500㎡、プール140㎡と運動場は9500㎡の規模の建設を計画している。

また、本校舎は3階建とし、地震や津波災害の避難所としても位置づけられる。
 平成24年度に設計、25・26年度に建設工事を行う。そして27年4月開校予定である。

副市長 決まる

副市長に大橋近義氏を選任しました。
大橋氏は昭和40年3月から平成18年3月まで県庁に勤務。その後、平成23年6月まで奄美空港ターミナルビル㈱に社長として在職されました。

(三拾町・65歳)



大橋近義氏

小山田邦弘氏当選(市議補選)

始良市議会議員補欠選挙(蒲生選挙区)が行われ、小山田邦弘氏が無投票当選し、1月16日当選証書が付与されました。任期は平成26年4月24日までです。



(蒲生町北・44歳)

教育委員の任命



みつきだ 淳子氏
(蒲生町上久徳・49歳)



福元 俊子氏
(平松・62歳)

肺炎球菌ワクチン接種助成

711万円

肺炎球菌ワクチンは、高齢者の肺炎予防に効果があるため、70歳以上の方を対象に予防接種費用の一部3000円を助成します。
1回の接種で5年間有効とされています。
平成24年5月より開始します。



▲5月よりはじまるワクチン接種

公園トイレ水洗化 4200万円

公園のトイレ改善を順次実施していますが、現在水洗化されていない所が、都市公園で8か所、その他の公園で8か所あります。
24年度は、池島公園と宮島東公園のトイレを水洗化します。
障がいをもった方も使えるトイレも備えます。



▲もうすぐきれいになる公園のトイレ

国保税 値上げ 制・条例 改定

一般会計から繰入れ 負担軽減



▲早めの治療で医療費削減

国民健康保険は、高齢化が進み生活習慣病や、高度な専門医療を受ける人が増え、一人当たりの医療費が年々増大してきています。

景気の悪化等で国保税の収納が伸びず、運営が厳しくなっています。

国保の健全な運営を図り、不足する財源を確保するため税率の引き上げを行います。併せて、加入者の負担を軽減するため財源の一部を一般会計から繰入れます。

保険税率の改正

所得割額を9.8%から12・1%に、資産割額は5%の減額。均等割額は200円、平等割額は2000円の増額になります。

一世帯当たりの引き上げ率は10・3%で、一人当たり、前年より6419円増えます。

また、一世帯当たりは前年より1万2153円の増となります。

県内順位は、一人当たり6位、一世帯当たり9位となります。

討論

賛成

21人

森 弘道
法元隆男
新福愛子

①国保会計の健全な運営を築くための改正である。一般会計からの繰入れで被保険者の負担を半減でき評価すべきである。

②一般会計からの繰入れは、一定の限度がある。利用者の負担もなければ他の保険との公平性を欠く。

③国保制度の抜本的問題を指摘し、国庫負担の引き上げを求める意見書を国に提出した。国の改革を待ちながら国保を維持するため、国保税の値上げはやむをえない。

④医療費は年々増加している。一般会計からの繰入れもあり、現段階での保険税値上げはやむをえない。

反対

7人

川原林晃
里山和子
神村次郎
堀 廣子

①雇用に対する不安、長引く不況、地方税法の改正による増税、子ども手当の見直しによる影響、これらに追いつけをかける国保税の値上げは、慎重にすべきである。

②24年度に法定外繰入れを行い、その後税率改正を検討すべきである。

③滞納額が多すぎる。行政の本腰を入れた取り組みで、徴収率を高めるべきである。

④夫と妻、子ども2人年間所得200万円の場合、4万8000円の引き上げになり、子育て世帯への影響が大きい。

⑤大幅な引き上げは、ますます滞納者が増え、

資格証明書の発行、医療費抑制、病気の悪化、医療費の増、国保税の値上げと、悪循環となる。

⑥今市民のくらしが大変な時だけに、くらしを守るという立場で市民に負担が生じないように、繰入れを行うべきである。

市民農園が建昌城跡地に今秋オープン

「始良市民農園条例」の設置目的は、市民が余暇を利用し農作物を栽培することで、農業への理解や市民間の交流促進を図り、併せて始良市の農業の活性化と食育の推進及び潤いのある市民生活を実現することです。

質疑 設置場所、1区画の面積、料金など、内容を示せ。

答弁 場所は、県道十三谷線沿いの始良ニュータウンの東側に位置しており、建昌城跡地の広大な面積の西側の一部を活用する。

全体で80区画あり、使用料は1区画25㎡、月額300円で貸し出す。

始良市は有機農業を推進しているため、農薬の使用は禁止する。



▲すばらしい自然環境に恵まれた建昌城跡地

中山間地域への移住定住者に補助金

「始良市移住定住促進条例」制定の目的は、中山間地域の活性化と均衡ある発展を図り、豊かで活力に満ちた持続可能な地域づくりを促進することと、小学校区域別に指定されています。

この条例を審査した総務常任委員会は、対象区域外でも条例の目的に合うものは、適用できるように修正し、本会議では修

正案を可決しました。

質疑 補助対象の内容と補助額を示せ。

答弁 次の3項目である。

①住宅等取得補助金

200万円～500万円

②こども補助金

50万円

③住宅増改築補助金

100万円～500万円

質疑 対象地区と対象者を示せ。

対象地区は、中山間地域の小学校区である。対象者は、始良市以外

の居住者が、始良市内の指定地域に移住定住した者である。



▲地域の伝承文化をしっかりと受け継ぎます(永原校区の吉左右踊り)

美しい自然と環境を後世へ

「環境基本条例」は、美しい自然と良好な生活環境を後世へ引き継ぎ、健全で恵み豊かな環境保全について基本理念を示し、行政・事業者・市民の責務を明らかにして、現在から未来へ向けて健康で文化的な生活の確保を目的に制定します。

その後に、環境基本条例に基づいて、「環境基

本計画」を定めます。

質疑 環境基本計画は、どのような形で策定するのか。

答弁 環境基本条例が議決された後、環境審議会を設置して環境基本計画の策定を諮問する。

策定に当たっては、環境基礎調査や住民アンケート調査を実施する。

質疑 環境審議会の選任方法と構成員について問う。

者、環境に係る団体の代表者、地域住民の代表者などである。

答弁 大学教授など専門的知識を有する学識経験



▲ごみ拾いで美しい海岸に(錦江湾クリーンアップ作戦)

議 決

東日本大震災がれきの受け入れ

昨年3月11日に発生した東日本の地震と津波は、我が国に多大な被害をもたらしました。

膨大ながれきの処理は、被災地の復旧と復興の大きな障害となっています。国は、全国の自治体に対して協力を呼びかけていますが、受け入れが進んでいないのが実情です。

始良市議会は、市当局に対して左記の項目の対処を求め、「がれきの受け入れに関する決議」をしました。

東日本大震災で発生したがれき受け入れに関する決議

- 科学的な知見により放射能の影響を検証し、放射線量の測定等十分な体制を整えること。
- 岩手県、宮城県のがれきについて情報を公開し、市民への説明責任を履行すること。
- 国に対しては、広域処理の法律を作らせること。
- 残留放射性物質除去の確約をさせること。

以上のことを条件に、通常の廃棄物相当と判断されるものについて、処理能力の範囲内で受け入れを表明することを要請する。



▲始良市の焼却場は処理の余裕がない

反対 6 討論 賛成 22

賛成 萩原

●がれき処理が急務である。●廃棄物の処理は、徹底的な安全管理のもとで実施されている。

反対 隈元・神村・森川

●環境省の説明会後の決議でよい。●受入れ不安視の市民に理解を求めることが重要。●慎重に議論し、本市の能力等を調査すべきだ。

議 決

議会基本条例

平成22年7月20日に設置した「議会基本条例制定調査特別委員会」は、25回の会議を開き条例制定に向けて議論を重ねてきました。

この間、佐賀県嬉野市や霧島市など、すでに議会基本条例を制定している市を調査し、3月定例会で議決しました。主な項目は、次のようになります。

「議会基本条例」とは？

議会と議員活動を活性化し充実させ、議員活動を通して、市民の皆様への意思を市政に反映させることが目的です。市政に関する重要な情報を、市議会独自の視点から市民の皆様にお知らせするため、広報広聴活動を充実します。

「議会報告会」の開催

「市民のための市議会」

の考えのもと、議員と市民が自由に情報と意見を交換する場を設けます。

市長に「反問権」

議会と市長は緊張ある関係を保ち、質疑等の応答では論点や争点を明確にする必要があります。

市長は、議員の質問に対し、論点整理のために反問することができると定めています。

議員の政治倫理

議員は、高い倫理的義務が課せられていることを自覚し、良心と責任感を持って、物事を正しく判断する能力を養うよう努めます。

この条例の施行は、平成24年4月1日からです。

介護保険料改定 基準月額 4340円

介護保険料の見直しは3年毎に行われ、今回保険料が改定されます。平成24年度から26年度までの保険料収納必要額から、それぞれの段階の保険料が決まります。

基準月額 は 4340円

保険料は、基準額となる第4段階が月額4340円、年額5万2100円になります。

第4段階を基準として、第1段階から第6段階までの額を改定します。

質疑 基準額でどの位の値上げになるのか。

答弁 月340円8・5%、年額にして、4080円の引き上げになる。

請願と陳情

採択 3件
不採択 1件

国民の権利を支える行政サービス拡充を求める請願

提出者 後藤 勇二 親
 紹介議員 上村



▲県内各地で取り組まれている障がい児童の学童保育やサマースクール

地域主権改革として、国の出先機関を整理統合し、自治体に移譲することとは、国の責任を自治体に押しつけ、放棄するものである。
 地方に犠牲を強いる「地域主権改革」は行わないこと、行政サービスの低下を招く国の地方出

先機関を統廃合しないことを国に求める。

障害者福祉法の改善拡充を求める陳情

提出者 西園 健三

政府は、「障害者自立支援法改正案」を推し進めようとしている。障がい者の声を汲み取った「障害者総合福祉法の骨格に関する提言」にそった新法を、制定するよう国に求める。

重富交番及びあいら農協重富支所跡地の活用について

提出者 野口 治将
 紹介議員 和田 里志

廃止が決定している「重富交番」、農産物の直売所（新鮮蔵）は、全面撤退が計画されている。活力ある地域づくりのため、重富交番（建物の払い下げ、あいら農協重富支所の土地、建物の購入・借り上げを求める。

質疑 重富交番の存続を望む声はなかったか。
 答弁 存続の意見もあったが、建物の利活用について考える方が良いとの意見が大半だった。

意見書

陳情・請願の趣旨に沿った意見書を関係機関に送りました。

不採択の理由	趣旨	提出者	不採択
陳情は平成23年の12月定例会で提出されて不採択になった。この施設はすでに第3者の物件である。	旧アイル・アイラのあり方を含め、「特別委員会」を設置し、検討していただきたい。	佐藤 一義	陳情第8号の不採択に伴う再陳情



▲農産物直売所（新鮮蔵）

警察署移転

加治木港周辺の活性化策

市長／港を活かした企業等の誘致



和田里志議員

和田 平成26年に予定されている始良警察署移転に伴う跡地問題と、加治木港周辺の活性化策についてどう考えているか。
市長 県としての利用方針は決定されていないため、周辺の活性化策については、警察署跡地の活用という視点とともに、



▲ 始良警察署移転後の跡地利用どう考える

民間の保有地も含め、加治木港を活かした企業等の誘致が進められないかを検討している。

各種基金のあり方

市長／今後見直しを検討

和田 各種基金「霞が関の埋蔵金問題」の類としてたびたび取り上げられる剰余金問題。
本市では、どのように

なっているか。
市長 平成22年度末、24

の基金で総額約71億115万円の基金残高である。現在市で保有している基金は、合併前までに保

有していたものを、ほぼそのまま引き継いだ状態であり、その目的及び保有額について整理し、今後見直しを検討する。

その他の質問 ○ 施政方針

24人が

問う



湯川逸郎議員

湯川 始良市における滞在型宿泊施設の誘致促進については、経済効果を図る上でも、喫緊の課題であると思うが、今後の誘致計画を示せ。

宿泊施設

今後の誘致計画

市長／助成措置を定め努力

市長 始良市企業立地促進条例にホテル・旅館業への助成措置を定め、ホームページや、企業立地懇話会等において紹介している。
今後引き続き情報発信し、誘致に努めるとともに、魅力あるまちづくりに努める。

高年齢入浴券と循環バス利用
市長／今後研究する
湯川 高年齢入浴券利用と循環バス活用については、乗り物等がなく、温泉に行きたくても行けない方々のために、温泉場所を含んだ循環路線バスの設定はできないか。
市長 現在の循環バス等については、生活路線の維持確保という公共交通の目的を優先している。
温泉を利用される市民の利便性の向上についても、今後様々な角度から研究する。

その他の質問

○ 6次産業の取り組み



▲ 国立公園を生かした宿泊施設を望む

JR九州との協議は

市長／個別の踏切を対象に協議



菅井義一議員

菅井 私は、始良町時代から街路森山線の踏切の早期実現を求めてきたが、未解決のままである。

始良から加治木までの23か所の踏切について、JR九州との協議はどのようなになっているか。
市長 個別の踏切の協議は行っているが、市全体の踏切改良計画の協議は行っていない。

今後は、街路事業や改良事業を行う中で協議しながら改良する。



▲こんなに狭い踏切です（茶工場踏切）

一般質問 市政を

近隣公園の完成時期

市長／実施時期は今後検討

菅井（仮称）松原小学校建設用地では、地域の方々がグラウンドゴルフなどに利用されているが、ボーリング調査が始まると利用できなくなる。

帖佐第一土地区画整理地区内の近隣公園の完成時期を示せ。

市長 25年度に事務所の閉鎖に向けて整理を行い、26年度に解体する予定である。

公園整備の実施時期は、今後検討していく。

学校司書

雇用形態と人件費

教育長／長期臨時職員で学校管理費に計上



本村良治議員

本村 学校司書は正規雇用か、非正規雇用か。また人件費は、どこに計上しているか。

その配置状況はどうなっているか。
教育長 雇用形態は全員が長期臨時職員で、その人件費は小中学校管理費に計上してある。

司書の配置は、学校全体の9割に相当し、小規模校では、学校内の教職員で対応している。



▲全ての小中学校へ司書の配置を望む

本村 海底火山や桜島の爆発による津波からの避難場所は、何を基準に決定するのか。
市長 発生から襲来まで避難に時間的余裕がある場合は、高速道路より山手の市が指定した避難場所を考えている。

避難に時間的余裕が無い場合は、津波襲来に耐えうる建物を条件が整い次第、避難場所に指定する。

その他の質問

○安心・安全な市民の生活を守る

○子育て支援

避難場所の決定

市長／高速道路を境に指定

市道の整備

早急に取り組み

市長／理解を得られた箇所から実施



森 弘道議員

森 市道の整備拡幅等の要望は何件出され、整備済みは何件か。

今後の取組みと、消防車が進入できない市道の早急な整備について問う市長 平成21年度から23年度まで14件の要望があり、整備済みが2件である。地権者の同意が得られず、実施できない箇所もある。実施計画に基づき緊急性、必要性、利便性を精



▲消防車が引き返した狭い市道

査し、用地に理解を得られた箇所から事業実施する。

北山上地区の避難所
市長／機能を充実させる

森 旧堂山小学校舎は、築53年が経過し、集会所等公共の建物としては老朽化が激しく、危険度が高い。避難所等も併設しており、施設の整備をどのようにするか。
市長 この施設は、地区公民館、簡易郵便局、出張診療所と多岐にわたり利用がある。
24年度、1階部分にトイレの増築、雨戸の取付け、畳の表替えを実施して避難所として機能を充実させる。

その他の質問

- 医療費の抑制
- 観光市を目指せ
- 教育振興基本計画

加治木中の音楽室

教育長／早い時期に設置

空調設備



堂森忠夫議員

堂森 加治木中の吹奏楽部の練習室は、夏場は生徒が熱中症の状態に近い。練習室に空調設備を設置せよ。
教育長 加治木中学校の吹奏楽部は、音楽室を使用しているが、夕方や夏場の午後の練習は、特に西日が強く、室



▲空調設備を望む加治木中の吹奏楽部

内の温度が高く練習に支障がある。
早い時期に音楽室への空調設備の設置ができるよう計画している。

健全育成は道徳教育の充実
教育長／モラリティ・インプリメント推進事業を計画

堂森 学校・家庭・地域が連携し一体的な体験学習や、青少年健全育成を旨とした道徳教育等をどう推し進めるか。
教育長 子どもたちの道徳性の向上を図り、確か

な自立と社会に貢献する人づくりを進めるために、平成24年度から新規事業でモラリティ・インプリメント(学校・家庭・地域の三者連携による道徳教育)推進事業を計画する。

その他の質問

- 地域活性化・まちづくりの取り組み
- 東日本大震災

堅野中央線

実施計画を示せ

市長／同意のあった路線を事業実施



萩原哲郎議員

萩原 堅野中央・狩川線は、地権者の同意が得られたとのことであるが、今後の実施計画を示せ。市長 堅野中央・狩川線は、地域の方々のご協力により、一部路線の同意をいただくことができた。今後は、同意のあった路線の実施設計を行い、

事業を実施していく。

スマートインターチェンジ設置

市長／実施計画の変更・修正行う

萩原 平成23年度から、事業実施計画書を作成していると思うが、現在の内容と状況を示せ。市長 「高速道路利便増進事業」制度実施要項により、インターチェンジの社会便益、採算性、構造や整備方法、管理・運



▲道路整備が望まれる堅野地区

営方法、周辺道路の安全性など検討と調整を行う。この結果を踏まえ、実施計画書の変更、修正を行っていく。

その他の質問

- 北上上地区に避難所・集会所の新築
- ドクターヘリの動向
- 道の駅・屋台村
- AED設置

管理職

女性職員の登用

市長／区別なく登用していく



東馬場 弘議員

るために自助・共助・公助を基本として、総合的な展開を図っていく。

龍門滝周辺整備

市長／歩道と駐車場整備を計画

東馬場 龍門滝周辺の整備について問う。

その他の質問

- 中学校の武道必修化
- ワンストップサービス

市長 滝見台公園から展望台までの山中の歩道整備と、金山橋付近と龍門司坂登り口付近に駐車場等の整備を計画している。



▲望まれる龍門滝周辺の整備

保護と活用

市長／海岸整備基本計画を策定



河東律子議員

河東 錦江湾の国立公園誕生を機に、始良市として、その保護や利用の促進をどのように図っていくのか。

市長 保護については、重富干潟等錦江湾奥の水質保全に向けた継続が必要である。
環境保全については、



▲いつまでも守ろう美しい景観（重富海岸）

環境基本計画の段階でも議論を深めていく。
24年度に重富海岸整備基本計画を策定し、年次的に取り組んでいく。

リサイクルの推進

市長／資源物の統一化定着が優先

河東 生ごみ、剪定木、衣類などのリサイクルを推進し、ごみの減量化を図ってはどうか。

市長 生ごみのリサイクルについては検討はしているが、収集方法や製品の販路などの問題もあり、実施には至っていない。
統一化した資源物収集の定着が優先と考える。

その他の質問

○柔道の安全

出水 保育所やちびっこ園で平成23年度に65人の待機児童がいる。具体的に早期の対策が望まれるが、解消策を示せ。
市長 保育所の待機児童の解消は、子育て支援の重要な課題と考える。
平成23年度に山田保育所増改築で20人の定員増を予定。24年度も定員50人の私立保育所整備補助をする。
ちびっこ園は保育士の配置で、入所児童の増員を検討する。

待機児童

早期の解消策

市長／保育所の整備補助



出水昭彦議員

学童保育施設の公設

市長／学校敷地内に設置

出水 運営委員会方式の学童保育は、加治木地区で実施している。
学校敷地内にプレハブ等公設する方法を全市で適用できないか。

市長 安心して利用できる学童保育施設を確保するため、学校敷地内に専用施設を設ける。
児童の健全育成に理解と熱意を有する地域の方や、保護者会等で組織する運営委員会が主体となって運営できるよう協議して取り組む。

その他の質問

○公営住宅建設



▲待機児童の解消を望みます（大楠ちびっこ園）

地域振興

地域・協働の施策

市長／コミュニティビジョンの策定



玉利道満議員

玉利 共生・協働の視点に立った地域社会の構築のため、どのような施策を考えているか。

市長 市のコミュニティビジョンは、地域コミュニティの将来像や、その実現に向けた取組みの基本的な仕組みづくりと方向性を示す指針として、策定する計画である。

高齢化が進み、地域の活力が減退する中、地域づくりを進めていく上で、市民が地域の将来がどうあるべきかを考え、自ら地域づくりに参画する気運の高まりや、市民・地

域・行政の協働を推進する。

玉利 政策を提案し実行する職員を、どのように育成しようと考えているか。

市長 職員の育成は、重要な課題であると認識している。

人材育成基本方針により、人材の育成を推進し、職員の意識改革に努めるとともに、研修制度の充実を図る。

その他の質問
○行政改革



▲共生・協働のまちづくりを推進しています(地域住民が協力して、いのししわなを設置)

徴収方法と対策

市長／滞納処分を厳正に執行

税金滞納



川原林 晃議員

川原林 ①国民健康保険税、②市営住宅使用料の最近の滞納額と、これからの徴収対策を問う。

市長 ①国民健康保険税の平成24年2月末現在の滞納額は、約5億1860万円である。

徴収対策として、督促

状・催告書等の送付、臨戸徴収、差押え予告、差押え、納税相談、分納誓約、公売、搜索、滞納処分の執行停止、不納欠損処理事務を実施している。

特に、担税能力がありながら納税しない滞納者には、納税の公平、公正を担保するため、滞納処分を厳正に執行する。

②市営住宅使用料の滞納額は、約3562万円である。

徴収方法は、督促状の

発送、保証人へのものを含む催告書の通知を行う。今後は、戸別訪問及び夜間特別徴収等を繰り返して、徴収に努める。

その他の質問
○市発注の指名競争入札



▲市税の滞納にタイヤロックによる差押さえ

防災対策

戸別受信機の整備

市長／他の通信手段で整備



神村次郎議員

神村 加治木地区の防災行政無線屋外拡声器の整備と同時に、加治木・始良地区の全戸に戸別受信機の設置は計画できないか。



▲市民の安全・安心を守る消防隊員

市長 今回、蒲生・始良地区に設置されている戸別受信機をデジタル周波数戸別受信機に変更する。市内全戸に設置した場合、受信機だけでも23億円の費用となり、維持管理を含むと多額の費用となるので、それに代わる通信手段の整備を考える。

消防職員の定数

市長／今後検討する

神村 消防職員の定数は、非常時に充分対応できているか。

市長 消防職員の定数は現在90人で、消防本部に26人、中央署に31人、始良分遣所に16人、蒲生分遣所に16人の合計89人が在籍している。

合併時に消防組合の定数をそのまま引継いでおり、定数適正化計画からは除外してある。今後、市民の安全・安心の確保の観点から定数について検討する。

その他の質問

○市職員の定員適正化

○自校方式の給食調理場

観光振興

市長／強力に推進する

国立公園



安田 久議員

安田 九州新幹線が全線開通して1年。そして、今回の「霧島錦江湾国立公園」の指定は、始良市の観光にとって大きな追い風と思う。今後の観光行政をどう進めるか。

市長 新幹線開通により、本県への経済効果は前年比463億円の増加が見込まれている。

本市周遊観光バス「あいらびゅー号」も好評で、1年間で157台運行、2915人の乗客が利用し、本市の観光振興に大きな効果があった。平成24年度も引き続き運行する予定である。

今回の国立公園指定は、本市の知名度を高め、多



▲ますます充実させたい「あいらびゅー号」の運行

くの人を呼び込む絶好の機会と捉えている。

錦江湾奥4市が、観光看板やロゴ統一を図ることで、リーフレットの作成、イベントの連携、湾奥クルージングや多様な観光ルートの開発などを協議している。

今後は、関係団体と連携を図りながら各種イベントを計画していく。

急病対策

救急安心カードの作成と活用

市長／先進地を参考に検討



竹下日出志議員

竹下 外出時の急病などの際には、適切な対応が求められている。持病や服用薬、かかりつけ医療機関、緊急連絡先などを書き込める「救急安心カード」を作成して市民へ配布し、身分証明証として活用を考えないか。



▲赤ちゃんと触れ合う「命のふれあい教室」(重富中学校)

市長 外出時などに「救急安心カード」があることで、救急活動を円滑に実施できると考える。今後、先進地の取り組みを参考に検討する。

子どもをほめる条例 教育長／制定へ向け取組む

竹下 全ての市民が、子どもたちに温かい心で接して見守り、良さを見つけ「地域の宝」である子どもへの成長・発達を地域で支援する「子どもをほ

める条例」を制定する考えはないか。

教育長 「始良つ子」子育て検討委員会を設置し、地域の子どもは地域で育てる気運を作り出す。

その中で、「始良市子育て条例」の制定に向けて取り組む。

その他の質問

- 豊かな人間性を育むまちづくり
- 地域に開かれた学校
- 開かれた行政の推進

国民年金

保険料の納付率

市長／24年1月末で54・4%



田口幸一議員

田口 ①始良市の国民年金保険料の納付率、保険料納付義務者数を問う。

②申請免除者、法定免除者の数を明らかにせよ。
③始良市民の国民年金受給額はいくらか。
④始良市民が受給している厚生年金、各種共済年金の受給額を明らかにせよ。

市長 ①納付率は平成24年1月末で54・4%である。納付義務者数は、第1号被保険者及び任意で納めている方を合わせ9177人である。

②免除者は平成24年1月末現在で学生や若年を含む申請免除者が3213人で、法定免除者が980人である。

③国民年金受給総額は、127億8700万円。

④厚生年金受給総額は、124億4500万円。

各種共済年金等の受給額は、それぞれの共済組合で管理している。

その他の質問

- 二級河川思川の堆積した土砂の除去
- 税申告と健康診断のあり方
- 観光



▲安心して暮らせる年金

行政改革

職員の適正配置をすべき

市長／事務効率化の検討を進める



湯元秀誠議員

湯元 各職員の勤務、報告等の提出、評価、行革の真意を問う。
市長 調書の提出やヒヤリングを実施し、管理職が勤務評定を行っている。職員数の配置調整を段階的に実施していく。

湯元 生活保護申請時に職員が強い圧力を受けると聞く。その対応策は。また、消防署分遣所は多重出動を考慮すると、5人体制を6人にすべきではないか。
市長 困難事例には、ケース診断会議で対策を講じ、マニュアルを作成し2人以上で対応している。分遣所の初動体制について現場サイドでの不安は大きい。
初動体制の充実と勤務体制の検討をする。



▲早期の2車線化が必要な宇都トンネル

宇都トンネルの2車線化
市長／総合計画の期間内で盛り込む

湯元 宇都トンネルの2車線化は、合併前に鹿児島市と方針決定事項である。
市長 現在の協議の進捗状況と事業実施計画を問う。
市長 鹿児島市と昨年から協議を進めているが、工法と工期の課題がある。第1次総合計画の期間内で盛り込んでいく。

武道必修化

示現流を履修種目に

教育長／伝統文化として継承



湯之原一郎議員

湯之原 新年度から中学1・2年生の男子、女子とも武道が必修となる。示現流は武道履修の目的に合致すると考えるが、履修種目として検討する考えはないか。

教育長 武道履修は、指導者の確保や施設設備・用具の整備、指導計画や評価計画の作成など条件が必要なため、柔道と剣道を基本に考える。
示現流の良さは理解するが、地域社会の伝統文化として継承していくことが大切と考える。

鈴野の森の活用

市長／市民への周知を図る

湯之原 市道岩井川内線沿線に、生活環境保全林事業で整備された「鈴野の森」があるが、市民への認知度が低く、ほとんど利用されていない。活用策をどう考えるか。

市長 「鈴野の森」は保健休養の機能を持っている。市報等で市民への周知を図り、森林浴を楽しむ利用者のために管理し、活用方法は地域の方々と協議していく。

その他の質問

- 待機児童問題
- 新留小・大山小の活用策



▲春らんまんの鈴野の森（蒲生地区）

女性政策

配偶者暴力相談支援センターの設置

市長／設置に向けて前向きに研究



新福愛子議員

新福 始良市となって拡充が進んだ「女性総合相談」ではDVに関わる相談件数が増加している。配偶者暴力防止法では、身近な市町村に支援センターの設置を努力義務としている。実現すると県本土では一番目となる支援センターを設置する考えはないか。

市長 相談証明書の発行や、保護命令に係る事前相談など迅速な対応が可能になる。今後、設置に向け前向きに研究する。

プロモーションビデオと市民歌
市長／制作に向けて研究を進める

新福 希望溢れるまちづくりの機運を醸成し、始良市を県内外に発信するためにプロモーションビ



▲4月からリニューアルする「女性相談」(本庁2号館1階)

デオを作成する考えはないか。また、市民歌制作の進捗状況を示せ。
市長 始良市をPRするために、あらゆるジャンルを考えながら制作に向けた研究を進める。
市民歌は24年度から準備に取り掛かり、27年度の市政発足5周年に発表する予定である。

その他の質問
○新しい母子手帳
○加治木保育所の環境整備

NHK大河ドラマ化

市長／切望する



法元隆男議員

法元 島津義弘公のNHK大河ドラマ化について、各種団体や住民の間で待望論がある。
有力な地元として、没後400年を視野に入れた大河ドラマ化を強力に推し進めるべきであると考え。市としての見解を示せ。



▲島津義弘公のゆかりの地 精矛神社 (加治木地区)

市長 島津義弘公の大河ドラマ化については、本市を全国にアピールし、知名度を高める絶好の機会と捉え、ドラマ化を切望する。

法元 県もその方向で動いていると聞いている。本市の取り組みの現況と、今後の進め方を問う。
市長 昨年10月26日に、県知事や県議会議長等が

東京渋谷のNHKを訪問して要望書を提出している。
次回の訪問には、義弘公ゆかりの地の市長として同行する予定である。
今後、大河ドラマの積極的な誘致活動に関係機関と一体となって取り組む。
その他の質問
○男女共同参画の観点から、学校における「混合名簿」

錦江湾美化

浄化槽市町村整備事業

市長／個別型浄化槽を推進



里山和子議員

里山 錦江湾の海水の浄化をさらに進めるために、汲み取りや単独浄化槽から合併浄化槽への切り替えが急がれるが、個人負担が大きくて進まない。個人負担が、6分の1に軽減される市町村整備事業を検討し、導入したかどうか。

市長 本市の合併浄化槽の普及率は、50%を超えている。

個人負担の公平性や、管理業務、下水道事業債の償還など財政的負担を考えると、今後も個別型浄化槽の推進を図る。

小中学校にクーラー設置

教育長／環境整備を研究

里山 昨年、桜島の爆発が1000回を超えた。

前回の質問の時、降灰のひどい地域から予算化を検討していきたいという答弁だったが、始良地区の小中学校から予算化できないか。

教育長 将来的には、降灰による影響が極めて強い地域に、空調設備を整備するため、市の財政状況を見極めながら、国の補助事業等を活用するなど、教育環境の整備について研究していきたい。

その他の質問

○三叉コミュニティセンターの温泉

○市道森・船津線の改修



▲水質浄化で、きれいな国立公園に

市内業者への発注

市長／積極的に要請

ヤマエ久野進出



上村 親議員

上村 本市に進出が決定した「ヤマエ久野」に対し、工場建設を市内建設業者に発注し、地元産の農産品・特用林産物の納入を要請できないか。

市長 建設については、何らかの形で市内業者への発注を要請する。地元産の農産品、特用林産物を活用するため、地元と調整を図りながら開発を行うとのことであり、本市の農林産物の活用を積極的にお願います。

給食室別棟建設計画

教育長／予算成立後保護者に説明

上村 小学校給食調理室の整備事業が提案されたが、関係機関と保護者・PTAとの協議はされたのか。建設の考えを示せ。

教育長 小学校給食室別棟建設は、建昌小・建昌小分離新設校並びに、帖佐・建昌の2幼稚園への給食を配送するため、建設予定地や運営について検討してきた。

本議会に提案している予算が成立した後、保護者へ説明する。



▲調理室からいいにおいがしてきます (建昌小学校給食室)

学校給食

自校方式の存続を

教育長／検討委員会で協議



堀 広子議員

堀 学校給食センターを自校方式からセンター方式に移行する計画である。子どもの食育や地域の経済効果の観点から、より教育効果の高い自校方式の存続を求めるが、今後の学校給食事業をどのように考えるか。



▲種まきから稲刈りまで体験
おにぎりをバザーにだしたよ（竜門小）

教育長 学校給食のあり方検討委員会で協議し、子どもの望ましい食習慣を養うことや、地場産業の活用等、栄養教諭を中心に食の指導充実に努めていく。

医療費削減

市長／市民一体の健康づくり

堀 住民と一体となった保健行政をすすめることで、医療費削減、市民の健康に対する予防意識の改革に、取り組む考えはないか。

その他の質問

○多目的トイレや公共施設の設置を

市長 一人ひとりが健康づくりに高い意識を持ち、地域全体に健康づくりの輪を広げていくことは重要と考える。関係団体等の協力を得て市民一体となった健康づくりを推進していく。



有馬研一議員

加治木運動場

バックネットの建て替え

教育長／設置の方向で検討

パークゴルフ場の設置

教育長／今後、研究する

有馬 市民の健康づくりや生きがいのために、始良市にパークゴルフ場を設置する考えはないか。



▲バックネットの建て替えを望む（加治木運動場）

教育長 パークゴルフは、芝生の上で楽しく遊べるスポーツであるが、土地取得など多額の予算が伴うので、今後研究する。

その他の質問

○地球温暖化

○EM菌の活用方法

第1回 クイズ

ここはどこ？



どの地区にある？

加治木？ 始良？ 蒲生？
県道沿いにあり小さな滝があります

- 官製ハガキかメール
答え、住所、氏名、年齢、電話番号を書いて、議会事務局にお送りください。
- 余白に「あいら議会議会だより」へのご意見、ご要望等大歓迎
- 締め切り 5月31日
当日消印有効

クイズを当てて 図書券をゲット

応募方法

あて先

※正解者の中から、5人の方に図書券を進呈

〒899-5492
始良市宮島町25番地
始良市議会事務局
メールアドレス
gchosa@city.aira.lg.jp

※ご応募いただいた方の個人情報、ご意見への解答、抽せん、図書券の発送以外の目的には使用しません。

委員	湯之原 一郎
委員	安田 久
委員	堀 広子
委員	堂森 忠夫
委員	竹下日出志
委員	笹井 義一
副委員長	新福 愛子
委員長	河東 律子

編集・発行責任者
議長 兼田 勝久
広報等調査特別委員会

私たち広報委員は、わかりやすい情報をお伝えし、共にまちづくりにたずさわっていかれたらと思います。
(河東)

傍聴席から

- 3月定例会は62人の傍聴者がありました。皆さまからいただいた貴重なご意見は、今後の議会運営に役立たせていただきます。
- 発言される時の声がマイクに入らず（声が小さい）発言の内容が理解しにくい場合があります。
- 傍聴させて頂き、ありがとうございます。
- それぞれ答弁が聞かれて、良かったです。住み良い街づくりに頑張ってください。
- 市制3周年となる始良
- 新市になり、部・課名も変わり、行政側の名称や氏名もほとんどわからない。△△部長とか、名前まで言ってほしい。
- 市議会傍聴者がいつも少数だが、市民の行政参加意識の向上策を考えるべきと思う。
- 市議・県議・国会議員選挙時の投票率の向上を。

傍聴席へ どうぞ

車いす席もあります

次回の開会は
6月中旬予定

編集後記

東日本大震災から一年が経ちました。大被害を受けながら懸命にがんばっておられる皆さんへ、できる限りの応援をしていきたいものです。

さて始良市は、第1次総合計画も策定され、新たなまちづくりに向けて動きはじまりました。3月には、重富海岸を含む「霧島錦江湾国立公園」が誕生しました。今年度は環境基本計画も策定されます。自然と人の暮らしが調和した、すばらしい始良市になつていくことを願っています。